

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	夢門塾川崎京町		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 1日		2025年 12月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	39	(回答者数) 23
○従業者評価実施期間	2025年 12月 1日		2025年 12月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者満足度が非常に高く、「安心して通えている」「他の放デイは考えられない」「先生方に感謝している」といった声が多数寄せられています。子どもにとって“安心できる居場所”になっている点は大きな強みです。	安全管理体制が整っており、マニュアル整備・避難訓練・BCP策定・ヒヤリハット共有など、組織的な安全意識が高い事業所です。記録も徹底されています。	職員体制の強化（人員確保・本部連携）を図り、支援の安定化と職員の心身負担軽減を進めます。
2	保護者満足度が非常に高く、「安心して通えている」「他の放デイは考えられない」「先生方に感謝している」といった声が多数寄せられています。子どもにとって“安心できる居場所”になっている点は大きな強みです。	活動内容が固定化しないよう、毎月のミーティングで企画を検討し、運動系やSSTなど多様な活動を取り入れています。	非常勤職員も含めた情報共有の仕組みを強化し、支援の質の均一化を図ります。
3	安全管理体制が整っており、マニュアル整備・避難訓練・BCP策定・ヒヤリハット共有など、組織的な安全意識が高い事業所です。記録も徹底されています。	支援前後の打ち合わせ、ヒヤリハット共有、朝礼での情報伝達など、チームでの連携を意識した体制づくりを行っています。	家族支援プログラムや保護者交流機会の拡充を行い、家族支援の質を高めていきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	「明らかな人手不足」との職員意見が複数あり、支援や職員の負担に影響が出る可能性があります。	人員不足は教室単独では解決が難しく、エリアマネージャーや本部との連携が不可欠です。	本部と連携し、採用強化やヘルプ体制構築を進め、職員が安心して働ける環境を整えます。
2	利用人数によってはスペースが狭く感じられることや、入口段差などバリアフリー面での課題があります。	施設構造上の制限や建物の老朽化が、環境改善を難しくしています。	レイアウト改善や空間活用の工夫を行い、限られたスペースでも安全性・快適性を高めます。
3	非常勤職員との情報共有や支援計画の共有に課題があるとの声があります。	非常勤職員の勤務時間帯の制約により、ミーティング参加や情報共有が十分でない場面があります。	支援ミーティングの持ち方や共有方法を見直し、非常勤職員も含めた情報共有の徹底を図ります。